

～令和8年度高校生プロジェクト～
中津北高等学校との意見交換会

実施報告書



令和8年6月

中津市議会 広報広聴委員会

高校生プロジェクト（意見交換会）について

■高校生プロジェクトとは？

中津市議会 広報広聴委員会では、令和6～8年度にかけて「高校生プロジェクト」と題して市内高等学校との意見交換会の実施及び議会だよりの表紙を高校生に作成してもらい、次世代を担う子どもたちに議会や市政に興味・関心を持ってもらう取組みをしています。

■意見交換会概要

- ・日時 令和8年6月9日（火）16：30～17：43
- ・場所 中津北高校 会議室
- ・参加者（敬称略）

中津北高校生徒	
生徒36名 （代表：木下 乙葉、山本 有紀菜、 江渕 友真、大下 愛雅、 佐藤 三乃莉）	

中津市議会広報広聴委員会	
委員長	淵野 真己
副委員長	木佐貫 佳子
委員	荒木 ひろ子
委員	角 祥臣
委員	中西 伸之
委員	本田 哲也
委員	木ノ下 素信
委員	相良 亜寿香

※欠席委員 三上 英範

高校側同席者	
校長	高橋校長
教諭	久本先生



■次第

1. 冒頭あいさつ（中津北高校 高橋校長）
2. 意見交換会の目的・趣旨説明（渕野委員長）
3. 中津市議会自己紹介
4. 中津市議会の紹介（本田委員）
5. 意見交換
6. お礼の言葉（木佐貴副委員長）



■意見交換の内容

①冒頭、事前質問（5点）について生徒側より質問し、議員が回答。

No.	質問者	質問内容	回答者
1	 木下	中津市の小中学校の不登校生徒の割合は全体の何割くらいで、大分県の他の市と比べてどうなのか知りたいです。また、不登校の子どもたちのフリースクールの利用率はどのくらいなのかも教えていただければ助かります。 <p style="text-align: right;">(P5 に掲載)</p>	 荒木
2	 山本	中津市では現在、男女の育児休暇取得に関してどのような取り組みを行っていますか。また、子育て世帯の給与・待遇面での男女格差をなくす中津市のサポートはありますか。 <p style="text-align: right;">(P6 に掲載)</p>	 木ノ下
3	 江 渕	現在進められている「不滅の福澤プロジェクト」によって、どのような効果を期待しますか。また、今後の展開として中津市の地形や特色を生かしたプロジェクトがあれば、想定する効果とともに教えてください。 <p style="text-align: right;">(P7、8 に掲載)</p>	 荒木
4	 大下	住みやすく安心して子育てができる環境づくりのために、特に新興住宅街周辺の街灯やカーブミラーの設置を増やしてほしい。 <p style="text-align: right;">(P8 に掲載)</p>	 角
5	 佐藤	市の公式 SNS (Instagram や Tiktok など) に現役の高校生が「広報大使」として関われる仕組みを作してほしいです。高校生目線のトレンドをとり入れた方が、市外の若い層の観光客も呼び込めると思います。 <p style="text-align: right;">(P9 に掲載)</p>	 中西



それぞれの質問に対する回答内容は、P5～9「事前に出して頂いた質問と質問に対する回答」をご確認ください。



②フリートークでの議論



原田

通学路で白線が薄い箇所がある。車とすれ違う際に道が狭く道路の真ん中を歩かざるを得ず大変危険なため、白線の再整備をしてほしい。

まず道路の管轄がどこになるのかを確認し、適切な窓口へ伝える必要がある。市道であれば「スマホでツーホー」を活用し、現場の写真を撮って市へ直接通報することができる。



澁野



守口

法改正により自転車の車道走行が原則となったが、車と接触する危険があるため、自転車専用のスペースを作ってほしい。

学校全体として声をあげてほしい。危険箇所をまとめた要望書を作り、現場をよく知る高校生から具体的な声が上がれば、議会としても関係機関への要望がしやすくなる。



本田



奥山

中高生がより身近な場所で気兼ねなく大人に相談できる環境づくりに向けて、市がどのような取り組みを考えているのかを教えてほしい。

中津市にはフリースクールやふれあい学級、教育委員会など相談窓口がある。ただ、中高生が大人に相談するハードルは高く、議会としても安心して通える学校づくりに引き続き取り組んでいく。



木佐貴



木部

中津市では少子高齢化や人口流出の課題に対してどのような取り組みや活動を行っているのか。

中津市では、安心して子育てができるように子育て支援の施策や移住定住支援や、企業誘致により多様な雇用を創出する取り組みを行っている。皆さんも進学や就職で一度都会に出たとしても将来中津市に帰ってきてくれると嬉しい。



木ノ下



相良

中津市を帰ってきたいと思う故郷にするためには何が必要だと思いますか？



木部

中津市民の誇りである伝統文化や産業を今後も守り継ぐことが必要。



江淵

過疎地域のバスの本数が少なく、不便と感じる。インフラの整備が必要。



中

若者にも届くようなインターネットを活用した広報活動が必要。

中津市議会も SNS で広報活動を行っているが、フォロワーを増やすためには？



中

大きな影響力を持つ人（ユーチューバーなど）と交流したり、中津市の名物である「からあげ」をキャラクター化することで認知されやすくなるのではないか。



宮木

老朽化した古い建物に対して中津市はどのような対応をとっているのか教えてほしい。



荒木

中津市では、老朽化した危険な建物の解体費用に対して、補助金を整備している。市役所にも空き家問題の相談窓口を設置している。



中原

現在、中津に住んでいる外国人の人数と、今後どのように関わるのか知りたい。



本田

現在、中津市には約 3,300 人の外国人が住んでいる。サンリブ 1 階に外国人総合相談センターを設置し、外国人が生活上の困りごとを相談できる環境を整えている。

■事前に出して頂いた質問と質問に対する回答

質問①



木下

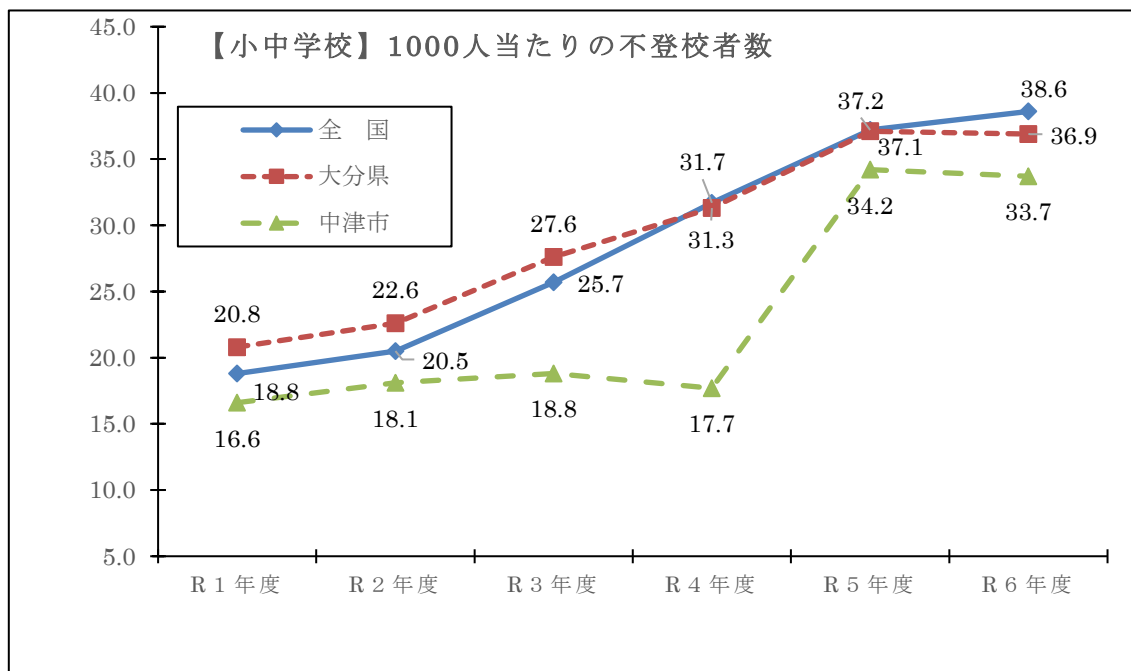
中津市の小中学校の不登校生徒の割合は全体の何割くらいで、大分県他の市と比べてどうなのか知りたいです。また、不登校の子どもたちのフリースクールの利用率はどのくらいなのかを教えていただければ助かります。(不登校の子どもたちも安心して学べる場が必要だと思い、フリースクールがどのくらい活用されているのかが気になったからです。)

回答①



荒木

中津市の小中学校の不登校児童生徒の割合は、文部科学省調査によると、令和6年度は3.37%となっています(1,000人当たり33.7人)。県内の他市町村の状況は分かりませんが、大分県全体では3.69%(1,000人当たり36.9人)、全国では3.86%(1,000人当たり38.6人)となっており、県全体・国と比較すると、中津市の方が不登校児童生徒の割合は小さいです。なお、令和7年度の数值は、現在、文部科学省が集計中で、例年10月頃に発表されます。不登校児童生徒によるフリースクールの利用率に関する調査は行っていませんが、ここ数年で、フリースクールを利用している児童生徒は4~5名います。中津市が実施している「ふれあい学級」を12名程度利用しています。



質問②



山本

中津市では現在、男女の育児休暇取得に関してどのような取り組みを行っていますか。また、子育て世帯の給与・待遇面での男女格差をなくす中津市のサポートはありますか。(もともと男女雇用格差について調べていて、中津市では共働き世帯が多く、給与面などのサポートがあれば心配事を減らすことができるのではないかと思ったからです。)

回答②



木ノ下

中津市では、男女がともに育児を担い、仕事と両立できる環境づくりや、子育て世帯の経済的な安定・格差解消に向けて、様々なアプローチを行っています。

現在行っている主な取り組みは以下の通りです。

1. 男女の育児休暇取得・両立に対する取り組み

◆「子の看護等休暇」奨励金制度（子育てと仕事の両立支援事業）

市内に本社を置く中小規模事業者（常時雇用者数50人以下）が、新たに有給休暇として「子の看護等休暇」を導入し、小学校3年生修了前の子を持つ従業員が2年以内に取得した場合、事業者に対して一律10万円の奨励金を支給するものです。

◆国や県のサポート制度の啓発

国や大分県が行っている助成金や取組を、市民や市内企業に向けて普及・啓発を行っています。

2. 子育て世帯の給与・待遇面での男女格差をなくすサポート

◆女性創業・起業支援補助金：女性の社会進出や地域での活躍推進を目的に、市内で新たに創業・起業する女性に対し、工事費や備品購入費などの対象経費の2分の1（最大100万円）を市が補助しています。

◆女性起業家支援事業「arch（アーチ）」：女性の多様な働き方を実現するため、実践的な起業セミナーや継続的な伴走サポートプログラムを継続して実施しています。

◆条例・計画に基づく事業者への啓発

第3次中津市男女共同参画計画・推進条例：性別による差別的取扱いの解消や、職場におけるワーク・ライフ・バランスの重要性について、市内事業者への意識啓発や理解促進を進めています。

質問③



江 澗

現在進められている「不滅の福澤プロジェクト」によって、どのような効果を期待しますか。また、今後の展開として中津市の地形や特色を生かしたプロジェクトがあれば、想定する効果とともに教えてください。(中津市がどのようなプロジェクトをどのような意図で行い、地域課題の解決とどうやって結び付けているのかを具体的に知りたいからです。)

回答③



荒 木

「不滅の福澤プロジェクト」は、令和4年度から令和6年度の3ヶ年で、昭和59（1984）年11月1日から史上最長の40年にわたって一万円札の肖像として活躍された福澤先生を令和6（2024）年の肖像交代に向けて、中津市内の団体・個人だけでなく中津にゆかりのある方々、団体等が幅広くネットワークを組んで重点的に顕彰し、福澤先生の偉業を末永く後世に伝

えていく事業として展開しました。

事業の目的は、福澤諭吉先生の故郷“中津”を全国に発信することで中津市民のシビックプライド（中津に対する市民の誇り）を醸成し、先生の思想を後世に語り継ぐ契機とする、若者を始めとした多くの人々に福澤先生の教えを伝え、実社会を生きていく上での指針にしてもらうことで、グローバル時代にあらゆる場面で活躍する人材育成につなげていく、本プロジェクトの構成団体をはじめとした多くの方々と福澤先生を中心としたネットワークを構築することで、故郷の偉人「福澤諭吉」を末永く後世に伝える基盤を構築することでした。若者に向けた教育委員会関連事業を例として挙げますと、

- ・福澤先生をテーマとした書籍（月刊「News がわかる特別編 福澤諭吉がわかる」）の配布
- ・慶應義塾との共催「高校生向け市民講座 みらい Lab.」
- ・高校生対象のワークショップ「CREATIVE CAMP in Nakatsu 2023」
- ・中高生対象 「人は話し方が9割」等ベストセラー著者 永松茂久氏講演会
- ・福澤諭吉記念全国高等学校弁論大会
- ・市民ミュージカル「人誰か故郷を思わ座覧～福澤諭吉翁物語～」上演
- ・なかはく夏休み特別企画「お札のヒミツ」 などがあります。

その他多くの事業を実施しており、単なる歴史的偉人の顕彰にとどまらず「福澤先生の精神をこれからの時代を生きる知恵として活力等に変え、中津市の観光・教育・地域活力の発展へと結びつけることができたことが成果であるといえます。

不滅の福澤プロジェクトは令和6年度で一区切りとなりましたが、令和6年9月に「学びの里なかつ推進宣言条例」を制定し、「独立自尊」の福澤精神を活かした、ひととまちがともに発展するまちづくりを進めています。この理念のもと、「誰もが学び自己実現できるまち」「地域課題解決と地域の持続的発展」「中津市のブランド力・知名度の向上」の3つを目標として掲げています。中津市教育委員会では、この理念を実現するため、一般的な学校教育の枠にとどまらず、幅広

い世代に向けた多様な学びの機会を創出し、未来の「まち」を担う「ひと」づくりの実現に向け、交流会や体験活動、講座や展覧会、講演会の開催など様々な取り組みを実施しています。

質問④



大下

住みやすく安心して子育てができる環境づくりのために、特に新興住宅街周辺の街灯やカーブミラーの設置を増やしてほしい。（自宅周辺に新興住宅が増えて道路も整備されてきましたが、児童・生徒の増加にもかかわらず、通学路には街灯やカーブミラーは増えていません。飛び出しや防犯の面で不安があります。住みやすく安心して子育てができる環境になれば、子育て層が増え、住民の満足度上昇にもつながると考えました。）

回答④



角

中津市では、地域の皆さんが安心して暮らせるまちづくりのため、地元の自治委員さん（地域の代表の方）などを通していただいたご要望をもとに、職員が必ず現地を確認し、カーブミラー設置基準に基づき設置を検討しています。しかし、カーブミラーや街灯はすべての場所に設置できるわけではありません。

① はじめに、カーブミラーについては個人宅や事業所、施設等の出入口は公共性の観点から利用者や受益者が限定されるため設置しません。また、私道から市道に出る際も同様の理由で設置できませんが、私道が完成から10年以上経過しており10戸以上家屋が有る場合は設置する場合があります。他にも、道路交通法によって停止線や止まれの標識がある交差点には原則としてカーブミラーを設置していません。理由としては、一時停止の義務があるため直接目視で左右の確認をすれば、安全に通り抜けることができるためです。かえってカーブミラーを設置することで、一時停止や徐行義務を怠り設置する以前より重大事故の発生が危惧されます。さらに、カーブミラーは主に自動車同士の安全確認を目的としており、歩行者や自転車の安全確認を対象としていません。その理由として、カーブミラーの特性による「死角の発生」、「距離感・速度感の錯覚」など、カーブミラーの設置によって歩行者や自転車がかえって危険になる側面があるからです。カーブミラーはあくまで安全確認の「補助施設」であるため、カーブミラーを過信せず直接目視での安全確認が大切です。

② 次に街灯には、その場所や目的に応じて設置する基準は異なりますが、通学路における街灯は「防犯灯」に該当します。防犯灯は夜間における犯罪の発生を防止することを目的としていますが、市道を効率的に照らすように50m間隔で設置をするという基準などを設けています。カーブミラーと同様、現地確認を行い設置の判断をしています。このように、街灯やカーブミラーは現地確認の上、現場に合わせた対応を行っていますので、通学路を通る際の通行に不便を感じた場合は、先生や家族の方などに相談してみてください。

質問⑤



佐藤

市の公式 SNS（Instagram や Tiktok など）に現役の高校生が「広報大使」として関われる仕組みを作ってほしいです。高校生目線のトレンドを取り入れた方が、市外の若い層の観光客も呼び込めると思います。（中津市には良いところがたくさんあるので、同世代の若い人たちへのアピールを SNS などを駆使して魅力をどんどん伝えていくとよいのではと思います。）

回答⑤



中西

市の観光課と地域振興・広聴課へ今回の要望内容について伝え、次のような回答をいただきました。

中津市への熱い思いを持っていただき、本当にありがとうございます！地元の魅力を「もっと多くの人に知ってほしい」という真っ直ぐな気持ちを、私たちは全力で応援します。中津市には、SNS 映え間違いなしの魅力がたっぷり詰まっています。

歴史・文化については、「福澤諭吉旧居」や「中津城」など、城下町の面影が残るレトロな街並み、自然については、「耶馬溪の新緑」や「紅葉」、「迫力満点の奇岩」など、季節ごとに表情を変える絶景、そして、グルメについては、「聖地・なかつからあげ」や、高級感あふれる「鱧料理」など、自慢の味があります。こうした豊富な魅力を発信するために中津市では「中津市観光パートナー」を募集しています。6月8日（月）締切で、残念ながら今期の募集はすでに終わっていますが、中津市観光パートナーには、観光地やイベント、グルメなどを撮影し、投稿することで、中津市の魅力を PR していただきます。

また、「風景部門」と「暮らし部門」の 2つの部門を設け、「風景部門」については毎月テーマを設定、「暮らし部門」については通年でテーマ（2026年度は「中津の日常」）を設定し、テーマに沿って撮影された中津市の写真を募集する「中津市 Instagram フォトコンテスト」を開催しています。詳しくは別紙のチラシをご覧ください。

高校生の皆さまも、高校生ならではのフレッシュな感性と SNS の力を活かして中津市のファンをたくさん増やしてくれるとうれしいです。

■議会だより（第131号）表紙

学校の紹介を兼ねて、中津北高校の皆様に議会だよりの表紙を作成して頂きました。

第131号

なかつ市議会だより

令和8年
6月議会

北高生も大海を渡る風となれ

中津北



大分県立中津北高等学校と意見交換会を行いました！



広報広聴委員会は、令和8年6月9日(火)中津北高等学校生徒会役員と意見交換会を行いました。意見交換会では、市の広報活動や子育て支援、道路環境の整備などについて、意見や質問をいただきました。それに対して委員より、現在の市の取組み状況や今後の計画等について説明を行い、活発な意見交換が行われました。

「なかつ市議会だより」は
中津市ホームページにも
掲載しています。

<https://www.city-nakatsu.jp>

なかつ市議会だより

検索



Instagram



Facebook

発行/大分県中津市議会

発行年月日/令和8(2026)年8月1日

■むすびに

今回の意見交換会では、日頃気づかない高校生の皆さんの率直な意見や、日常の中で感じている思いを直接伺うことができ、私たち市議会議員にとっても大変貴重な時間となりました。これからのまちづくりにあたり、若い世代の声をしっかり生かしていけるよう努めてまいります。

この機会をきっかけに、高校生の皆さんにも議会や地域のことに関心を持ち、より暮らしやすい・住みやすいまちづくりを考える場などに積極的に関わっていただければ嬉しく思います。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。またこのような機会を持てることを楽しみにしています。

